

GlobalvoiceEnglish 導入事例

HOYA SERVICE CORPORATION

HOYAサービス株式会社

音声ソリューション事業部

それぞれに適した音声教材をピンポイントで作成できます。

神戸学院大学 経営学部
准教授 山本誠子 様



GlobalvoiceEnglish3

2006年の初期モデルから3世代にわたりGlobalvoiceEnglishを使用しています。英語リスニング教材の作成が主な目的です。

TTS技術が広く知られるようになり、一教員がPCで容易に音声教材を作成できるとは、便利な世の中になったものです。TTSで音声を作成するメリットは、多くの方がおっしゃるように、英語母語話者に録音を頼まなくても、想像に近い音声が手軽に手に入ることです。テキストとは違う例文を使って復習教材を作る場合でも、「ここで音の同化を入れたい」「この音は脱落させたい」など、細かい希望も大筋でかなえることができます（多少の工夫は必要ですが）。GlobalvoiceEnglish3では従来よりも音質が良くなり、微調整の必要性も少なくなりました。また、私が使用しているパッケージにはイギリス英語も含まれていて、話者のバリエーションが広がりました。

各課の小テスト以外に、アンケートシステムによるweb上のリスニング弱点調査も、本学教材作成室に協力をいただいていた。そこで必要な音声はすべてGlobalvoiceEnglishで作成し、MP3に変換して使用しました。「合成音声だから聞きにくい」という反応はほとんどありませんでした。クラスレベルや学生のニーズに差がある場合、それぞれに適した音声教材をピンポイントで作成できるのも助かります。例えば同じテキストを使っている場合でも、日本人クラスと留学生クラスでは、リスニングの問題点が違う場合があります。テキスト付属のCDを聞くだけでなく、聞き取りにくい部分に特化して練習問題を作成することができるのです。

また、リスニング教材だけでなく、学内助成を受けたスピーキング教材の開発にも、GlobalvoiceEnglishを利用しています。

[2010.12.12]

神戸学院大学 経営学部 教材WEB
このHPは、神戸学院大学 経営学部経営学科 山本准教授の授業教材公開ページです。

教材用アンケート

■ プロフィール
Profile
神戸学院大学
KOBE GAKUIN UNIVERSITY
神戸学院大学 経営学部
Faculty of Business Administration

問題 01 のこり 75 問



Say this time.

空欄でも次の問題に進むことはできます。

解答が終わったら、『次へ進む』をクリックしてください。

[次へ進む](#)

※次の画面に進んだ後は、このページに戻ることはできません。

神戸学院大学 経営学部 教材WEB
このHPは、神戸学院大学 経営学部経営学科 山本准教授の授業教材公開ページです。

教材用アンケート

■ プロフィール
Profile
神戸学院大学
KOBE GAKUIN UNIVERSITY
神戸学院大学 経営学部
Faculty of Business Administration

アンケートについての説明 1/2
それではアンケートの回答方法について説明します。

今から、
Say this time. (今度は ~ と言って下さい)

という英語の文を聞いて頂きます。
空欄に相当する英語の音声を書き入れてください。

英単語で入力できない場合は、カタカナで入力してもかまいません。
すべて聞き取れない場合は、聞き取れた部分だけでも入力して下さい。

[次へ進む](#)

説明を読み終わったら「次へ進む」をクリックしてください。

神戸学院大学

<http://www.kobegakuin.ac.jp>

 神戸学院大学